

都会がすぐそばにある場所で

自然とつながり
学びも遊びも体験する。

何にもないようで、求めるすべてがここにある。

ブランドテーマ

ゆったり
いいところ
おかがき

福岡市と北九州市の間にある、人口約 32,000 人の小さな町の持つ魅力



JR 鹿児島本線の沿線で、2本も国道が通っている。
通勤・通学・休日のお出かけに便利かも

水道水の約 85%が地下水。蛇口をひねればおいしい水が出るっていいよね。
100 年の時間をかけてろ過された地下水が、暮らしのそばにある



町北部に広がる響灘。
砂浜に座って、ただ海を眺めるだけの時間がぜいたく

駅のそばを流れる川では、初夏にホタルが舞う姿が。
一日の終わりに、ホタルの淡い光を見て心と体を癒す



★ 空気が澄んだ日には、遠くに電車の音が聞こえるほどの静寂に包まれる夜。
★ 見上げれば、無数の星。さながら、天然のプラネタリウム

大切な町の恵みとふれあい、自然を生かした教育で、地域の自然や人のぬくもりを感じる。
それぞれの学校の魅力で、子どもたちの成長を育む



町に広がる田園風景。農業がそばにある暮らし。
田植えやビワの袋掛け授業などの体験で、子どもたちの生きる力を育む

など

■岡垣町ブランド戦略を策定

町は3月に「岡垣町ブランド戦略」を策定しました。これは、時代の情報ニーズに合わせ、町の情報発信の方法を見直し、より効果的に町の魅力を町内外に発信するための方針を定めたものです。町の魅力が広く浸透することで、多くの人が町を知り、訪れ、「岡垣町のファン」が増えることが期待されます。さらに、外部からの注目を集めることで、住民の町への愛着なども培うことができると考えています。

このため戦略では、住民の意見をもとに改めて町の魅力（＝岡垣ブランド）は何かを考え、さらに「誰に」「どんな情報を」「どんな方法で」伝えていくことが効果的かを検討しました。岡垣ブランドの浸透により、「この町に住みたい」「この町が好き」など、町のイメージ向上に繋がっていきます。

■岡垣ブランドを伝える

ベッドタウンとして発展してきた岡垣町。戦略では、転入者のデータを基に、町の魅力を最も伝えたいコアターゲットを「車で一時間圏内に住み、第一子が保育所・幼稚園入園前の子育て世代」と決めました。多くの人が定住先を検討し始めるタイミングで情報を届けることで、町への関心を喚起し、町を訪れたり、移住の候補地として検討してもらうことを目的としています。

岡垣ブランド

まちの魅力って、なんだろう？

ブランド戦略を策定するに当たり、町は、さまざまな分野で町に関わる人や、町外から転入してきた移住者を委員として招き、年9回にわたり会議を開きました。会議の名前は「まちの魅力を語る会」。

それぞれの立場から、改めて「岡垣町の魅力（岡垣ブランド）とは何か」について意見を出し合ってもらい、岡垣町を象徴するブランドテーマ「ゆったり いいところ おかがき」をはじめとした岡垣町ブランド戦略の方針を固めていただきました。



ブランドテーマや戦略策定に携わって、どうでしたか？



テーマやターゲットを決めたことで、今後の移住定住の取り組みへのいい道筋ができたと思います。 大堂 卓哉



岡垣町にある自然や人、日常そのものが魅力であり、それを、お年寄りから小さな子どもまでが覚えて、伝わる言葉がブランドテーマになったと思います。 奥寺 優美子



背伸びしすぎない、岡垣らしいブランドテーマになりました。まちの魅力を知り、まずは観光に来て欲しいです。 尾前 実香



テーマを見て、多くの人が町を訪れてくれたらうれしいです。町が皆の「癒しの場所」になったらいいな。 金澤 麻衣



会議で岡垣町の魅力について話す中で、改めて「住みやすさ」を実感しました。少しでも町外の人が反応してくれたらうれしいです。 小滝 佳史



まちの魅力である豊かな暮らしを、多くの方々に知ってもらうために、今後は住民も一緒に町を盛り上げていきたいなと思います。 眞山 昌



さまざまな角度からまちの魅力を再認識できました。これを機に、岡垣町を好きな人が増えればと思います。

藤川 諭志

「事実だけを伝える発信」から、

「共感を呼ぶ発信」へ

これまでの情報発信は、施設や観光スポット、事業内容などを「正しくそのまま伝える」ものでした。しかし、社会が物質的に豊かになる中で、多くの人々が「モノ（商品やサービス）」から、「コト（体験や経験）」に価値を置くようになりました。

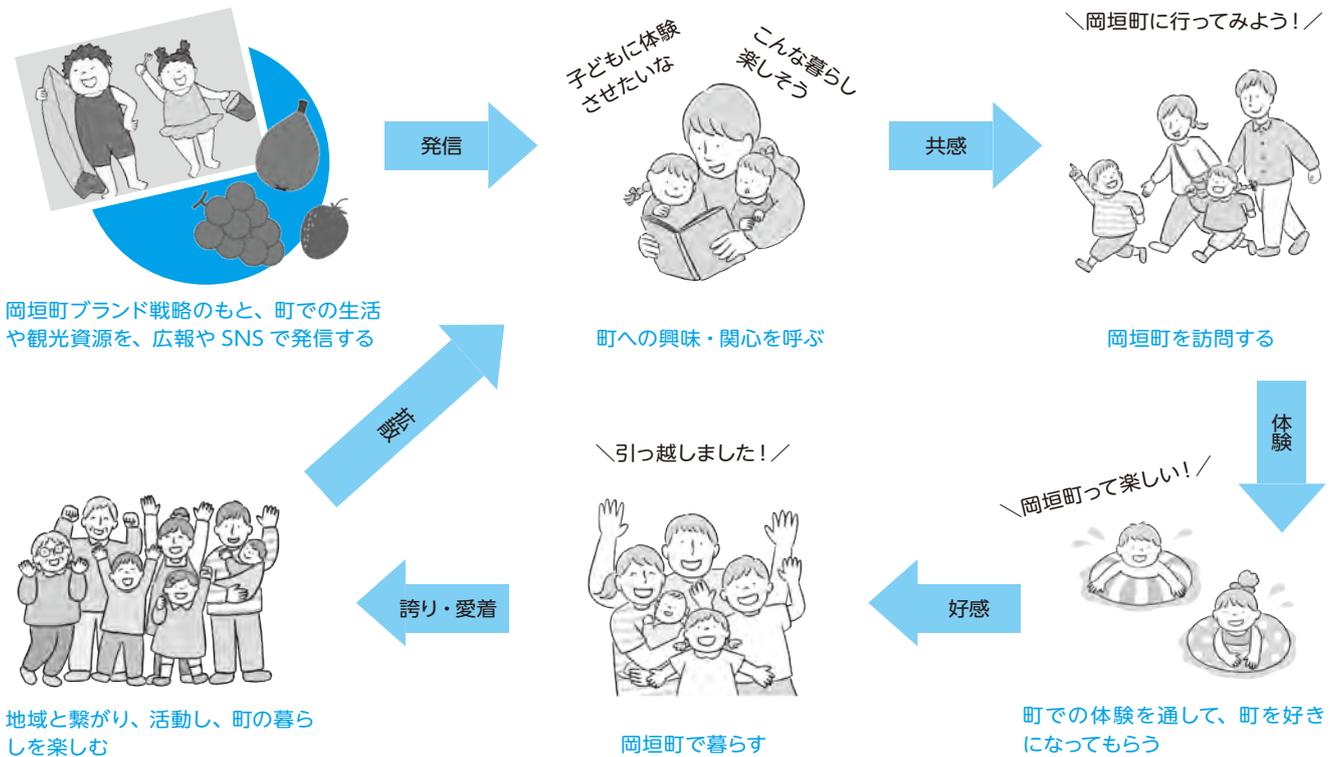
このような時代の変化の中で、町は受け手の「興味関心」や「生活」「ライフスタイル」に寄り添った情報発信にも力を入れる必要が生まれました。

町が発信する情報が見る人の心に響くことで、多く

の人が町を訪れ、さらに体験したことを発信・拡散し、第三者に共有することで、たくさんの人にまちの魅力が伝わり、最終的に「岡垣町のイメージ」が変化していくことが、岡垣町ブランド戦略が描く理想です。

また、岡垣ブランドの浸透は、住民の「町への誇りや愛着」の醸成にも繋がります。

さらに、このサイクルを繰り返すことで「岡垣町」というブランドを練り上げていくことができます。



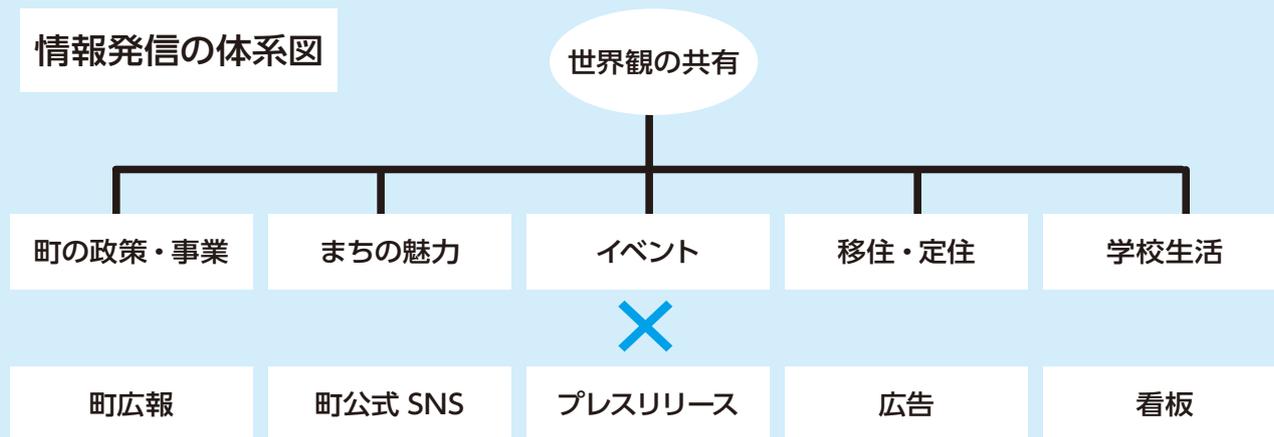
■岡垣ブランドの浸透がもたらす効果

- 移住拡大** 都市部に近くて自然豊か。岡垣町って理想の子育て環境かも。
- メディア・ニュース化** 最近岡垣町の情報需要が高いみたい。まだまだ知られていない魅力がたっぷり!
- 観光拡大** スポーツ&レジャー。岡垣町って楽しいところがたくさん!週末のお出かけにぴったり。
- 町民の町への誇り・愛着** この町の「当たり前」って、価値あるものだったんだなあ。
- 起業促進 企業誘致** この町なら、心地よく暮らしながら働ける環境が整いそう。ここで起業したら、たくさんの人が集まりそう!
- 関係・交流 人口拡大** 岡垣町をもっと元気にしたい!この町で何か面白いことがしたいな。

岡垣町ブランド戦略の今後の展開

ブランドテーマ「ゆったり いいところ おかがき」やまちの魅力から生み出された世界観を町に関わる全ての人と共有し、各媒体を通じて情報を発信することで、岡垣ブランドの浸透を図ります。

情報発信の体系図



ブランドブックの作成

岡垣町だからこそ得られる生活体験などを、写真やイラストを織り交ぜながら紹介する冊子を作成します。

イメージポスターの作成

視覚的な町のイメージ作りを行うため、ポスターを作成します。

ブランドロゴの作成

ターゲットの興味を惹き、町のイメージ・雰囲気を一目で伝えられるような、岡垣ブランドを象徴するデザインのロゴを作成します。

一緒に町を応援してくれる皆さんへ

町の SNS では、さまざまな「まちの魅力」を発信しています。ぜひフォロー・拡散してください。また、岡垣町で思ったことや感じたこと、きれいな景色など、あなたが思う「まちの魅力」を SNS に投稿し、たくさんの人とシェアしてください。また、町では今後、住民の皆さんと一緒にできる企画を検討し、随時お知らせしていく予定です。皆で一緒に岡垣町のファンを増やしていきましょう！



▲ Instagram



▲ Facebook